

## 「魚沼応援枠」における採択基準

- 魚沼市の産物、観光資源、人的資源など、魚沼市ならではのものを有効活用した内容であること。
- 「人が集い、学び、支えあうまち 魚沼」を実現するための取り組みであり、交通・防災・自然環境・健康づくり・高齢福祉・子育て・学び・集いの場作り 等、顧客のニーズをくみ取り、暮らしをより良く、楽しくする内容であること。
- 上記に関連する取り組みで、販売力、集客力を向上させること。

### 【地域資源① 特産物を使った取り組み】

魚沼市で（特産物）を生産する〇〇氏の協力を得て、（特産物）を活用した新商品を開発し、市内外にPRすることで地元農家の認知度向上と売上げアップを目指す。

### 【地域資源② 場所や景観をアピールする取り組み】

魚沼市の（観光資源）にちなんだ新サービスを展開することにより市外観光客を誘致し、（観光資源）の地元ならではの楽しみ方を提案し通年のリピート化を目指す。

### 【地域資源③ 地域の伝統（芸能・技術・行事等）をアピールする取り組み】

魚沼市〇〇地域住民に昔から愛されている（伝統）と、当店のサービスとコラボした〇〇を実施し、（伝統）を知ってもらうと同時に、当店のサービス認知度も高める。

### 【地域課題① 健康をテーマにした取り組み】

市内では年々〇〇な人が増え、〇〇に対する健康ニーズが高まっている。そのため、〇〇を改善するためのサービスを開始し、地域住民の健康な暮らしをお手伝いするとともに、継続的な健康管理の必要性をPRし、リピーターを確保する。

### 【地域課題② 環境をテーマにした取り組み】

近年、〇〇業界では自然環境を意識したサービスが消費者に選ばれており、当店の顧客からのニーズも高い。そのため、〇〇を導入し、サステナビリティな企業姿勢と魚沼のクリーンなイメージをPRし、他店との差別化を図る。

### 【地域課題③ 学びをテーマにした取り組み】

顧客のリスキングに対する関心が高まっているため、当店の持つ経験と技術を活かし、店内の一部を〇〇スペースとして開放し、定期的に教室を開催することにより、地域の中で〇〇に関する技術を持つ人を増やし、新たな交流と学びの場を提供するとともに、新規顧客の来店動機を促す。